

(公印省略)
令和5年3月22日

関係各所属長 様

群馬県柔道連盟
会長 鳥居吉二

令和5年度群馬県小学5・6年生対象強化選手選考会・希望者対象「魅力ある技を身につけよう」講習・練習会

1 日 時 令和5年5月20日(土) 8時10分 開館 8時45分 審判・監督会議(第4会議室)
9時15分 柔道着コントロール 9時20分 開会式
9時40分 試合開始 表彰式なし 大会終了後講習等17時清掃終了予定

2 場 所 ALSOKぐんま武道館 第1道場

3 主 催 群馬県柔道連盟強化部

4 実施種別

- (1) 小学6年生男子2階級(軽量級・重量級) (2) 小学6年生女子2階級(軽量級・重量級)
(3) 小学5年生男子2階級(軽量級・重量級) (4) 小学5年生女子2階級(軽量級・重量級)

※各自の申込体重により各階級がおおよそ同じ出場人数になるように調整する。申込体重は、不正することなく申請すること。

5 参加資格

- (1) 群馬県柔道連盟を通し、全日本柔道連盟に団体登録をした団体に所属、競技者登録をした者及び登録申請中の者。
(2) 選手の年齢区分は、2011年4月2日以降に生まれた小学6年生、2012年4月2日以降に生まれた小学5年生に在籍している者。
(3) 所属長は健康に十分な配慮を行い、保護者の承諾を得ていること。
(4) 以下の新型コロナウイルス感染症対策を遵守できる者とする。
①観客席等において、密閉・密接・密集の「3密」をさける。
②手指消毒を心掛け、試合時以外はマスクを着用する。
③館内での飲食はしない。(熱中症予防や体調管理のための水分摂取やエネルギー補給は可、ただし黙食に限る)
④別紙、健康状態申告書の提出、健康観察期間(5/6～)及び大会当日に37.0度以上の発熱があった場合は入場かつ試合に出ることはできない。
(5) 選手以外で参加できる人数は、1つの所属チームあたり、監督1名とコーチ1名、選手1名につき保護者1名とする。その他、駐車場は砂利の弓道場脇とする。

6 日 程

- (1) 密集を防ぎ、更衣室利用不可のため自宅より柔道着を着用することをすすめる。
(2) 8時10分に開館し、1階正面入口より入場、第1道場入口で受付、手指消毒などをする。
(3) 受付では別紙、健康状態申告書を提出し、下足は各自準備したビニール袋に入れて保管する。
(4) 第1道場で9時10分までウォーミングアップを行い、9時15分に整列し、柔道着コントロールを受ける。
(5) 大会終了後、希望者を対象に筑波大学の岡田弘隆さん(別紙、プロフィール参照)の講習・練習会を行う。
その際に、大会に参加した所属長・コーチ・保護者は観覧できる。

7 審判規程 ※昨年度から変更あり

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規程及び「国内における少年大会特別規程」を適用する。
(2) 試合時間は3分間とし、原則としてトーナメント戦とする。
(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」「判定」とする。
「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合「指導」差が1以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。スコアが同等であれば旗判定で勝敗を決定する。(延長戦は行わず「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2、0対1)
(4) 男女ともに敗者復活戦を実施する。方式については出場人数に応じ、ダブルレペチャージあるいはシングルレペチャージ方式を採用する。ダブルレペチャージ方式は、ベスト16を対象にベスト4に敗れた者、シングルレペチャージ方式はベスト8を対象に決勝進出者に敗れた者に出場権がある。よって、敗退しても上記対象となる選手は試合観戦をして確認すること。男女ともに3位決定戦(3位2名)まで実施する。
(5) 試合が連続する場合、休息は次の試合まで試合時間分の3分間を取ることを申し合わせとする。

8 表 彰 表彰式は行わない。

9 組 合 せ 令和5年5月12日(金)15時よりぐんま武道館第4会議室において県柔道連盟強化部員で行う。

10 参加申込

出場選手は所定の申込用紙に必要事項を記入の上、令和5年5月5日(金)までに下記あてにEメール(手書きではなくデータ入力したものを添付)と郵送(データ入力したものをプリントアウトし、押印する)の両方で申し込む。

Eメールアドレス : gunmajudo@gmail.com

郵送先 : 〒370-3524 高崎市市中泉町654-9 黒田圭一あて

11 参加料 受付時に選手1名 1,000円を第1道場入口で納入する。

12 柔道衣コントロール等

- (1) 開会式前にマスク着用にて柔道衣コントロールをする。
- (2) 柔道衣コントロール時に併せて髪の確認をする。襟にかからないようにまとめること。

13 大会中止・延期条件

群馬県教育委員会等からの要請があった場合や群馬県柔道連盟が群馬県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。

14 ゼッケンについて

ゼッケンは各自で下記要領にて必ず縫い付けること。

- (1) ゼッケンのサイズは、概ね横30cm～35cm、縦25cm～30cmとする。
- (2) 縫い付け位置は後襟から約5cm～10cm下部とし、対角線にも縫い付けること。
- (3) ゼッケンの表記は上部2/3に苗字、下部1/3に所属名を記載すること。

15 その他

- (1) 各学年、各階級で男子はベスト8、女子はベスト4に入賞した選手が、群馬県小学生強化選手とする。試合終了後、ワッペンを本部(黒田)まで取りに来る。また、6年生男女の各階級優勝者4名は、8月27日(日)横浜武道館で行われる全日本小学生育成プロジェクトに参加する。
- (2) 主催者は、選考会中の不慮の負傷・疾病について応急処置を施すとともに傷害保険の範囲内の責任を負うものとする。
- (3) 万が一の事故の発生に備え、参加選手独自で傷害保険等に加入して万全の事故対策を立てておくこと。
- (4) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - (a) 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - (b) 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、脳神経外科の専門医の精査を受けること。
 - (c) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (d) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (6) 問い合わせ先 : 群馬県柔道連盟強化部長 黒田圭一 090-3098-6302